

令和4年2月18日

2月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木県では原木生産は順調で、3共販所への入荷も年末から増加傾向にある。1月の市も完売。スギ3m柱材は年末に16,000円台まで下がったが、再び20,000円台に上がり強気配。ヒノキ材は4m中目材が下がってきているが、その他は横ばいで推移。小径木は荷動き、価格とも良好である。

群馬では降雪の影響はなく、原木入荷は順調で集荷も容易になった。原木価格は下落傾向にある。全体的に引き合いは減少。プレカット工場からの引き合いが減少に転じた。製品在庫はスギ、ヒノキの柱・桁・間柱に余裕が出始めた。東北材の首都圏入荷が少なく貫・胴縁の引き合いが多い。製品価格は高値安定であるが、一部で価格調整も見られ一服感がある。低価格帯で推移していたバタ角や野地板が値上げ傾向にある。

2. 米材

産地ではクリスマス休暇後の降雪で伐採活動は落ち込み、原木出荷の急減により需給バランスが大きく崩れた。米国の原木輸出拠点のロングビュー近辺では1月の一ヶ月の間に原木価格が\$300~\$400/千SCRの上昇となった。過去に例を見ない短期間での上昇である。米マツIS級並の2月対日輸出価格(推定)は売り手、買い手間の交渉の結果、分割値上げになり、前月比\$125アップの\$1,275になった模様。1月中旬から天候は好転しており、伐採活動が回復してもトラック不足により原木出荷の急増にはならないだろう。米国の製材品市況は11月から1月末まで続伸したが、2月になり反落気味であるが小じっかり推移。ランダムレンジス紙発表の15種平均価格(2/2)は\$1,227/M。一方シカゴ先物相場は米国長期金利の上昇を受けて乱高下している。

12月原木入荷は132千 m^3 と大きく減少、2021年累計で2,226千 m^3 (前年比25.0%増)、出荷は135千 m^3 で2021年累計で2,292千 m^3 (同24.1%増)。在庫は減少し118千 m^3 、在庫率は0.65ヶ月と1ヶ月割れが継続。国内米材工場では角類の動きは依然好調だが、羽柄類が低調。東京木材埠頭の1月製品入荷は20千 m^3 (前月比52.2%減)、出荷は22千 m^3 (同5.8%増)、在庫は54千 m^3 (同3.8%減)。各プレカット工場の在庫量は多く、資材も高コストのため小ロットでの荷動きが多い。なお、東京木材埠頭では在庫数量が倉庫収容能力を超えて引き取りを催促している状況。

3. 南洋材

サラワク州では雨期で1月の原木生産は低調でインド向けは3船とやや供給不足。FOB価格はUS\$10程度反発した。州政府は1月より原木輸出ロイヤリティをRM40(約US\$10)/ton引き上げた。PNGでは北岸の天候が悪く、日本向け船積みの原木生産は低調で配船遅れが懸念される。サバ州では1月から原木輸出が再開され、日本の商社数社が契約予定だが、具体的な配船は未定。インドが輸出再開に関心を示しており、今後サラワク州への牽制になりそうだ。2月予想の原木入荷は0千 m^3 、出荷は2千 m^3 、在庫4千 m^3 。製材品入荷は33千 m^3 。

4. 北洋材

産地では中国市場回復のニュースもあるが、日本向けは引き続き不振で各工場の稼働率はさほど上がっていない。日本側の原板の買い気は皆無であるが、フレート高、コスト上昇で産地側の値下げはなく、綱引き状態が続いている。アカマツ野縁製材品は産地の良材不足で更に値下げの兆候もない。コスト最高値の製品が入荷しているが、荷動きは悪く多少値下げに応じざるを得ない状況である。国内製材工場の受注はDIY向けが多少回復してきたものの、高値で消費者が購入を手控えている模様。12月の製品入荷(東京+川崎)は23千 m^3 でここ1年で最高の数量となった。出荷は16千 m^3 で依然低調。在庫は38千 m^3 で7月以降、増加傾向にある。

5. 合板

合板用原木は全樹種で上昇。特にスギ、カラマツは大幅に高騰。国産材、外材の原木不足でロシア単板の引き合いが多く強含み。米材は12~1月の寒波や大雪の影響で伐採が大幅に遅れているが、引き合いは強い。

12月の国内合板生産量は26.7万 m^3 、うち針葉樹合板は26.0万 m^3 、出荷量は25.7万 m^3 で在庫量は9.2万 m^3 、うち構造用合板の在庫は7.4万 m^3 とかなりの低水準。各メーカーはフル生産であるが、需要が旺盛なため不足感が継続。働き方改革による労働時間の短縮と作業員不足、原木、単板の原料不足で生産量が伸びない。価格は強含みが続くだろう。輸入合板は産地価格の上昇に円安が加わり値上げが続いている。針葉樹合板の品薄により12mm系の引き合いが旺盛である。現地のコストアップ(接着剤・運賃・原木・人手不足)のため値上がり傾向は続くと予想される。12月の合板輸入量は23.2万 m^3 で中国、ベトナム産が高水準の入荷(LVLの急増)、マレーシア産は前月比減、インドネシア産は大幅増。インドネシアでは天候不順で原木不足は慢性的である。

北米、日本からの堅調な引き合いで合板価格は高値を更新中。マレーシアの工場は SOP(マレーシア版働き改革)を遵守し、稼働を継続しているが、慢性的な労働力不足と原料不足により合板生産量は頭打ち。対日合板価格は引き続き強含み。

6. 構造用集成材

10月中旬から滞留していたコンテナ船が1月に入り一気に入港し始めたが、これらは遅れていたもので、今後の入港は不透明である。ラミナの今年第1・四半期の契約価格は若干落ち着き€500~€530程度だが、契約量は例年以下の見通しである。現在消費のラミナは昨年第3・四半期契約分の€620を超えるもので、原価は工場着100,000円/m³になっている。第2・四半期契約価格は€100程度の値上げが濃厚である。輸入集成材も遅れていたコンテナ船が入港し、入荷量は一時的に増大している。輸入集成材は過去最高値の昨年第3・四半期価格であり、国内流通価格は150,000円。今年第1・四半期契約は130,000円/m³程度と予想される。

7. 木材チップ(東海)

チップ原木は製紙・バイオマス用とも引き合いは強い。入荷は例年並みだが、今後の降雪に大きく影響される。解体材は例年並みだが、タイト感が強い。製紙用では国産針葉樹チップのタイト感は解消されず、増集荷基調が継続している。燃料用は冬期にはボイラーの燃料消費量が増えるため、毎年のことながら在庫ギリギリの綱渡り。在庫は製紙、燃料用ともに少なく、降雪状況によっては更に逼迫の懸念がある。

8. 市売問屋

構造材では国産材のKD材はまとまって動く気配はないが、GR材の9.0cm角×4、3m、10.5cm角×4mの不足が目立ってきた。合板メーカーの原木買いが目立ち始め、製材所は原木不足、原木高になっているため、2月からの羽柄材(GR材)の値上がりは必至となっている。

9. 小売

全体的に停滞感が強い。米加材、欧州材、ロシア材は価格の高止まりが続いているが、市中の荷動きが鈍いため大きな影響は出ていない。木材は高値ながらも材料は揃ってきたが、合板や住宅機器の品薄が続き、工事も進まない状況である。年明け以降、ヒノキ製品がやや値を下げている。WW集成柱の品薄感が薄れたため、スギKD柱角の荷動きは良くない。国産材造作材は大雪の影響で例年にも増して入荷が国難になっており、首都圏では輸入の内装造作材に流れが向き、引き合いが増えている。

参考資料

(一財)日本木材総合情報センター

令和4年2月18日

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	↘	→	→
北洋材	丸太	輸出禁止	*	*
	製材品	↘	↗	↘
南洋材	丸太	↘	↘	→
	製材品	→		

注)北洋製材品は東京・川崎

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	↘	↗	↘

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	↗
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	↘
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ間柱 (KD) 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×3.65m	↗
			ヒノキ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
ヒノキ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→			
ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↗
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角 (KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			SPF 2×4 J-Grade R/L	→
			米ヒバ土台角 (GR) Std&Btr 4・13/16" 13'	→
米マツ平角 (KD) 特等 10.5×24.0×4m	→			
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用 メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	↗
		東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	↗
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ (KD) 30×40上級	→
		アカマツ (KD) 16×40上級	→	
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 3.0×10.5×3m S4S FOHC	→
		ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→	
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	↗
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↗
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗